



大山地区コミュニティ
マスコットキャラクター

第170号

令和7年12月20日発行

編集・発行

大山地区コミュニティ運営委員会／広報編集委員会
大山公民館 TEL・FAX 0287-37-6130

第31回 どんどん焼き開催に向けて

どんどん焼きの準備として、12/6(土)にトリ小屋の材料となる
カヤ刈り及び竹切りを行いました。ご協力いただきありがとうございました。

改めて、どんどん焼きの開催に当たり、次の点について皆さんのご協力をお願いします。

○日時 令和8年1月9日(金) 18時から

○場所 大山地区コミュニティグラウンド

○来場時の駐車は、大山小校庭(※16時30分以降)をご利用ください。

○公民館駐車場は、当日16時30分以降、駐車できません。

○どんどん焼きでは、古札と正月飾りのみ預かります。

○その他の品物(だるま、人形、年賀状など)は、お預かりできません。

○古札や正月飾りの持込1回あたり500円お預かりします。

○正月飾りは、ビニール、金属(鈴・針金・釘)類は取り外してお持ちください。

○持込日時は、1月5日(月)から8日(木)午前8時30分から午後5時までの間で預かります。

○どんどん焼き当日の持込みはできません。

○個人の厄除けは受付しません。ご了承ください。

○屋外での開催になります。暖かい服装にてご来場ください。

○会場にて甘酒をふるまいます。(その他はキッチンカー出店あり)



お役立ち講座『味噌づくり』参加者募集

日時：令和8年2月7日(土) 午前9時15分集合

場所：大山公民館

内容：自家製の味噌づくりを体験

対象：大山地区在住の方

参加費：4,500円(一人当たり約8kgの味噌)

定員：10人(締切1月21日又は定員になり次第)

持ち物：エプロン、三角巾、ゴム手袋、マスク

申込方法：令和8年1月7日(水)9時00分から公民館に電話(Tel37-6130)にて申込



冬に向けて 花🌸いっぱい

高齢者部会 部会長 川島 勝子（寄稿）

大山コミュニティ高齢者部会「第2回ふれ愛・花いっぱい事業」は11月6日（木）に4地区の高齢者部会員さんを中心とした地区の皆さんと那須特別支援学校の高校生との交流活動として実施されました。高校生たちは10名ほどでしたが、何人かずつ4つの地区に分かれて、高齢者の方々と共に一生けんめい花植えをしていました。卒業後、花壇の整備や花植えなどをする時に、大山コミュニティで高齢者の方と一緒にしたことを思い出し、役立ててくれることを願っています。

この事業を通して、高齢者の皆さんたちの大山コミュニティに対する意識が大変強いことが分かりました。作業開始の時間前までに、ほとんどの高齢者の方々が集まり、担当の花壇の整備、花植えなどの仕事に積極的に取りかかっていました。また、終わらない地区の花植えや片付なども手伝っていたことなど、本当に素晴らしい光景を目にしました。高校生との交流だけでなく高齢者の方々同士意識を高めあっていたようです。



『小さな旅』行ってきました

文化部会 部会員 森 春子（寄稿）

11月14日（金）に文化部会と生活部会の共催で、「小さな旅」を開催し、44人で晩秋の宮城を訪れました。真っ青な空と紅葉ときれいな空気の中、「塩釜水産物仲卸市場」に着きました。ここには115の店舗が並び、海の幸がたくさんありました。そして次は「海鮮せんべい塩竈」で数十種類のせんべいを試食したりしました。最後に昼食会場の「武田の笹かまぼこ」で美味しい海鮮料理を食べました。天気がよく気持ちのいい一日でした。



世代間の交流をグラウンドゴルフで



11月22日（土）に体育レクリエーション部会と高齢者部会の共催で、世代間交流グラウンドゴルフ大会を大山公民館グラウンドで行いました。参加者は61人でした。

秋空の下、グラウンドゴルフを普段から楽しんでいる皆さんが、クラブの持ち方や打ち方など丁寧に子どもたちに教えながら、コースを回りました。

楽しい歓声がグラウンド中に響いていました。

先進地視察を実施しました

文教と友愛の郷づくり部会 部会員 阿見 政美（寄稿）

11月28日（金）に大山コミュニティ運営委員会「先進地視察研修」に16人が参加し、いわき市いわき震災伝承みらい館等に行きました。

未曾有の大震災を体験した震災語り部の記憶や教訓、被災地の復興状況などの話を聞きました。いわき市の薄磯・豊間地区は最大8.5mの津波におそわれ多くの家屋が全壊・流出して200名を超える犠牲者が出たとのこと。避難所生活で一番困ったことはトイレの状況で、大勢の人が利用するため大変だったそうです。私たちも災害が起きた時は、自分の命は自分で守るように心がけたいと思います。

